

# 銅・アルミ

## 市況見通し

### 11月

#### 銅

9月の伸銅品生産量は前年同月比で28・7%増の6万4610トだった。27%増だった。

9月の銅電線出荷量は前年同月比で同0・3%増の5万2100トで、うち国内が同0・2%減、輸出が同17・6%増だった。

品別別では銅条が2万3214トで同32%増、黄銅棒が1万53トだった。

9月の伸銅品生産量は前年同月比で28・7%増の6万4610トだった。27%増だった。

9月の銅電線出荷量は前年同月比で同0・3%増の5万2100トで、うち国内が同0・2%減、輸出が同17・6%増だった。

#### 銅スクラップ景況予想

電気銅建値は一時104万円から134万円まで急騰、急騰の翌日には125万円まで

で下落した。このこと  
から出物が無く、流通  
(二次問題)在庫は薄  
い。

需要面はこれまでの  
ところ、前月に続き中  
国の部品調達遅れに  
伴い自動車生産が減少  
傾向となっている。た  
だ、挽回生産に向けた  
在庫積み上げにより、  
需要は旺盛だと見てい  
る。

逆に急落してもその  
価格での販売に躊躇す  
る。問屋も多く、定期で  
入らないメーカーが高  
値買ひする傾向が今月  
も続くだろう。

#### LME銅・為替予想

今月は「燃料炭価格  
抑制策の動向」と「中  
国不動産大手・恒大集  
団の経営不安問題」に  
左右される。

前者は、中国・雲南  
省全体では電解アルミ  
（7カ月連続のプラス）  
の6万2651トだった  
の9万8524ト、押  
出類が同7・8%増  
の9万2802ト（11カ  
月ぶりのマイナスイ）  
の6万2802ト（11カ  
月ぶりのマイナスイ）  
の6万2802ト（11カ  
月ぶりのマイナスイ）

工業用金属の需要減  
退懸念は引き続き今月  
も行われるのではと見  
出荷は同0・2%減の

6万3894ト（11カ  
月ぶりのマイナスイ）だ  
った。

輸出はアルミ新地金  
が同13・3%増の15  
2ト、アルミ2次合金  
が同51%増の2370  
ト、アルミスクラップ  
が同42・8%増の2万  
7059ト、アルミ缶  
が同11・4%増の77  
93ト。

輸入はアルミ新地金  
が同42%増の10万40  
34ト、アルミ2次合  
金が同26・9%増の8  
万5003ト、アルミ  
スクラップが同28・9  
%減の427ト、アル  
ミ合金スクラップが同  
く、玉不足が続いてい  
る。

#### アルミ

9月のアルミ延品  
生産量（板類・押出類  
合計）は同7・6%増  
の16万1175トとな  
り9カ月連続で前年同  
月を上回った。生産量  
は板類が同7・6%増  
（9カ月連続の増加）  
の9万8524ト、押  
出類が同7・8%増  
の9万2802ト（11カ  
月ぶりのマイナスイ）  
の6万2802ト（11カ  
月ぶりのマイナスイ）

#### 11月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ 現物後場買	2600~2950P/L (現物後場買)	弱い
スクラップ	10~15P/L (前月最終価格より)	弱い

需要面は前月に続  
き、中国の部品調達の  
遅れからの自動車生産  
が減少傾向となってい  
る。ただ、挽回生産に  
向けた在庫積み上げか  
ら、需要は旺盛。  
このため既に急落し  
てもその価格での販売  
に躊躇する問屋も多  
い。定期で入らないメ  
ーカーが高値で買っ  
ては、需要は旺盛。このため既に急落してもその価格での販売に躊躇する問屋も多い。定期で入らないメーカーが高値で買っては、需要は旺盛。

## 橋本アルミ取締役

### 橋本 健一郎氏レポート



銅輸出は、電気銅が同42%減の4万9351ト、銅スクラップが同10・5%減の2万7460ト。  
銅輸出は電気銅、銅スクラップともに旺盛な内需に伴い減少した。  
銅輸入は、電気銅が同10%増の550ト、

#### 11月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	8500~10000P/L	弱い
電気銅建値	98~119万円	弱い
為替 (1P/L)	110~115円 (1カ月間TTM)	変わらず

#### 11月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ 現物後場買	2600~2950P/L (現物後場買)	弱い
スクラップ	10~15P/L (前月最終価格より)	弱い

需要面は前月に続  
き、中国の部品調達の  
遅れからの自動車生産  
が減少傾向となってい  
る。ただ、挽回生産に  
向けた在庫積み上げか  
ら、需要は旺盛。  
このため既に急落し  
てもその価格での販売  
に躊躇する問屋も多  
い。定期で入らないメ  
ーカーが高値で買っ  
ては、需要は旺盛。このため既に急落してもその価格での販売に躊躇する問屋も多い。定期で入らないメーカーが高値で買っては、需要は旺盛。